

九州沖縄農研の動き

「見てみよう！植物工場」をテーマに一般公開を開催 － 筑後・久留米研究拠点の久留米地区 －

福岡県久留米市にある九州沖縄農業研究センター野菜花き研究施設（久留米地区）で2013年4月20日（土曜日）に一般公開を開催しました。

当日は冷たい雨の降るあいにくの天候にもかかわらず、約600名の来場者があり、盛況な一般公開となりました。ありがとうございました。

本年の久留米地区の一般公開は「見てみよう！植物工場」というテーマのもと、太陽光利用型植物工場および完全人工光型植物工場で行っている研究の紹介や施設の見学を行い、植物工場で生産したレタスを来場者に試食いただき、その味も確かめていただきました。

植物工場のほかにも、久留米地区で育成したイチゴ品種（ビタミンCたっぷりの「おいCベリー」や果実の大きな「おおきみ」）の試食、展示パネル

による研究の紹介などを行い、小学生にもイチゴ狩りなどで楽しみながら研究施設に親しんでいただきました。また、九州沖縄農業研究センターの都城拠点（宮崎県都城市）で育成したサツマイモ品種「べにはるか」の焼き芋、筑後地区（福岡県筑後市）で育成した米粉パン向き水稻品種「ミズホチカラ」の焼きたてパン、さらに、農研機構野菜茶業研究所の協力で、注目の品種「さえみどり」のお茶などの試食・試飲も行いました。話題となっている品種の試食や試飲は来場者の人気を集めていました。

次回の久留米地区の一般公開は2015年の春に開催する予定です。



室内展示会場の様子とスプラウトの展示



栽培セットを使ったイチゴ多収技術の説明



新しい種類のスプラウトの展示



植物工場産レタスを使ったサラダの試食